

ワシントン大学短期英語プログラム 報告書

札幌校 養護教育専攻 2年 郷司青海

1) 受講した授業について

授業初日に、筆記・リスニング・面接を受け、それぞれの能力に適したクラスに振り分けられました。クラスは9時半から12時20分で、ゲームをしたり英語で話し合ったりクラスメイトとの交流が多かったように思います。先生が街へ私たちを連れ出してくださった日もあり、一緒にお昼ご飯を食べるなどクラスの仲間ととても仲良くなることができました。最後は、自分の好きなトピックを選び、選んだトピックが重なった人たちとグループを組んで、プレゼンテーションにまとめ、皆の前で発表しました。このプレゼン作りのために、ボランティアの方やホストファミリーにインタビューをしたり、英語のメモや原稿を作



ったりする活動も行い、英語でコミュニケーションをとることが重要視されているプログラムだったと感じました。

私が特に楽しく参加していたのが火曜日と木曜日の午後に行われるフィールドトリップです。これは、クラス関係なくSTEPプログラムに参加している学生たちが引率してくださる先生方と一緒に、シアトルの様々な観光スポットへ行くアクティビティです。いろいろなところへ行きましたが、特に楽しかったのはpike place marketとbainbridge islandへ行く最中のフェリーです。シアトルの観光名所に確実に行くことができるので、ぜひフィールドトリップにも参加するとよいと思います。

↑スペースニードル

2) 生活について

☆ホストファミリー

私がお世話になったお家は、1人の老婦人がいらっしゃいました。とても素敵な方で、お孫さんとテレビ電話をしたり、ラコーナという街の水仙畑に連れて行ってくださったり、演劇鑑賞に連れて行ってくださったり、たくさんの貴重な体験をさせてくださいました。お家によると思

↓お気に入りのビーチ



いますが私のホストマザーは炊飯器を持っていて、夜ご飯は毎日お米が主食でした。最終日には、ステイ先の近くにあるビーチでバーベキューをするなど、最後の最後まで素敵な思い出でいっぱいです。

☆友だち

この留学の間に、シアトルに住んでいる高校時代の友達と久しぶりに再会しました。彼女の



友達は皆とても優しく面白い人たちでした。目的や目標をもってアメリカで勉強に励む彼らの姿を見て、私も刺激を受けましたし、どんなに文法知識が曖昧でも、おそれずに口に出して会話しようとする気持ちが大切なのだと実感しました。彼らに出会うことができよかったです。ありがとう！

↑みんなで食べたうどん

☆交通機関

シアトルの交通機関は主にバスです。私はオルカというキタカのようなカードにお金をチャージして利用していました。オルカは safe way というスーパーなどでも購入できます。バスは前から乗る、ボタンではなく線を引っ張って降車することを伝えるなど、日本とは違うところが多々あったので確認が必要です。乗降の時、運転手さんへ笑顔で挨拶することも忘れずに！

☆天候

シアトルは本当に雨が多いです。私たちが滞在していた時は土砂降りの日もありましたが基本的には小雨のようです。傘をさしている人はほとんどいません。レインパーカーがあると便利だと思います。比較的暖かいので、3月中旬には桜も満開です。

☆週末旅行

2週目の土日を利用して、友達とカナダ旅行をしました。カナダへ行こうと考えている方には、早めにその旨をホストファミリーに伝えて万全の準備で行くことをおすすめします。そして、個人的にはカナダのコインが見所です。時々、限定コインが混ざっていることがあるので見つけるとテンションが上がります(笑)

Gastownにある蒸気時計



3) 最後に

私は、英語専攻でもないし英語もうまく話すことができないし人見知りだし、留学に行く前は期待よりも不安の方が大きかったです。しかし帰ってきて、行ってよかったと心から思いました！シアトルは親切な人が多く、道で困っていれば声をかけてくれる人がいるし、会話していてわからない単語があれば「分からないので教えてほしい」と伝えるとしっかり教えてもらえます。たったの3週間では語学は十分に身につかないけれど、自分の気持ちを曖昧にしないことや言語の壁の中で相手に自分の言いたいことを伝えようとする気持ちが少しは育ったのかなと思います。

シアトルは本当に素敵な街です。想像以上の出会いや出来事があなたを待っています。英語漬けな3週間の思い出分楽しんでください！